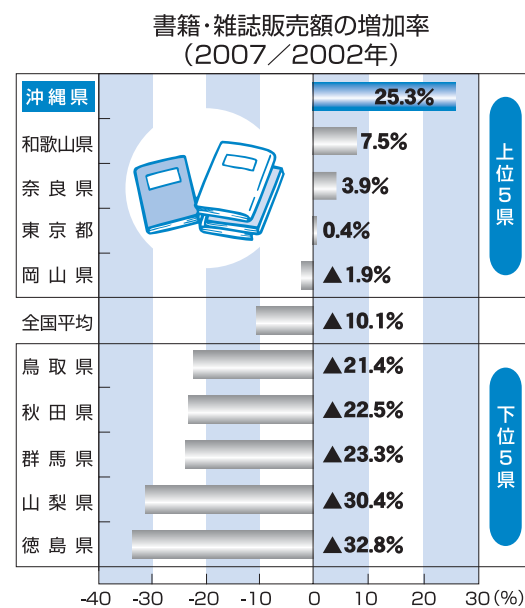


【書籍・雑誌の販売額の増加率】

25.3%

県内にちょっとした読書ブームが到来しているのだろうか。経済産業省「2007年商業統計調査」によると県内における書籍・雑誌（小売）の年間商品販売額は総額約202億円。1人当たりに換算すると14,756円となる。前回調査時の2002年と比べると、総額で約40億円、1人当たり約2,600円も増加している。販売額（総額）では全国平均が10.1%も減少しているのに対して、県内は25.3%も増加。全国ではダントツだ。ネットショッピングによる購入動向は、都道府県別の販売額に必ずしも反映されるわけではない。とはいえ、他府県に比べても書店等で直接、本や雑誌を購入する機会が増えているといえそう。ここ数年、大型書店の出店ラッシュが続いた沖縄。県民の読書意識の高まりが大型店を呼び寄せたのだろうか…。

(海邦総研経営企画部/島田尚徳)

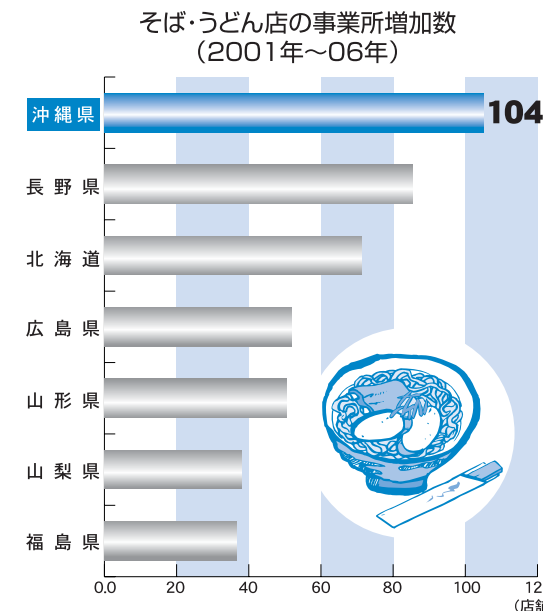


【そば・うどん店の事業所増加数】

104店舗

先日、本部町は県内で初めて「そばの町」を宣言した。そば愛好家を誘客する町おこしも同時にスタートしたという。地域に多くのそば屋があることを強みとした取組みに期待は高まるが、沖縄県内はどのエリアでもそば屋などが増えているようだ。総務省「2006年事業所・企業統計調査」によれば、沖縄県の01年から06年までのそば・うどん店の事業所増加数は104店舗と全国一。従業者数も609人増とこちらもトップだ。最近ではテレビ局が企画する視聴者参加型の沖縄そば王決定戦が行われて、実際にグランプリを獲得した店は来店客数が伸びているとか。消費者としては、麺やだしにこだわりのある美味しい店が増えることは大歓迎だ。

(海邦総研事業支援部/比嘉明彦)

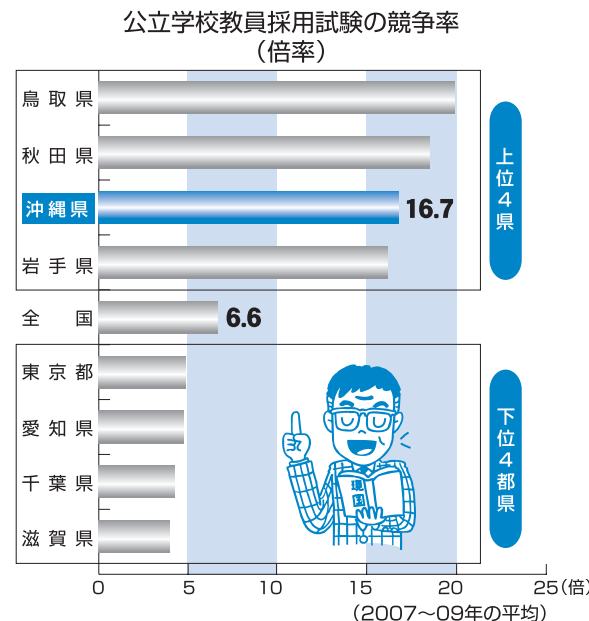


【公立校教員試験の競争率】

16.7倍

大人になったらなりたい職業にあがることの多い『学校の先生』。生徒とともに甲子園をめざす“熱血教師”などテレビドラマでも主役になることも多いのではない。文部科学省「公立学校教員採用試験の実施状況」によると2009年の沖縄県での教員採用試験の受験者数は、約4,900人。2007年から3年間の平均競争率も16.7倍と全国で3番目に高く狭き門である。また、多様で個性豊かな人材を求めめるため、民間企業勤務経験者の採用など選考方法の改善もなされているようだ。今年の新社会人は“ゆとり教育”を受けた第一世代で、与えられたことに対し一生懸命に取り組む反面、指示待ち傾向が強いと言われていた。できればこれからの時代変化に対応できるような柔軟さと、『自律型育成』をされる先生方が増えて欲しいものだ。

(海邦総研人材開発部/安田ひろみ)

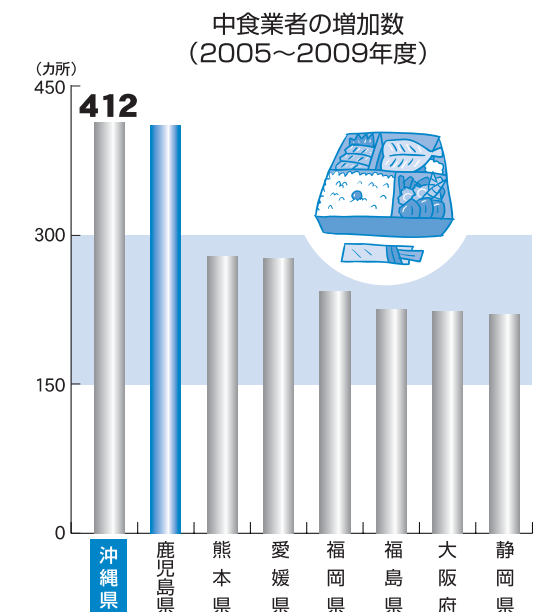


【中食業者の増加数】

412カ所

「なかしょく?」。レストランでの食事は外食。家庭の食事は内食。「中食」は外食と内食の中間で、弁当やてんぷら等の惣菜のことである。中食は、核家族化などの世帯変化、高齢化や晩婚による単身者の増加等により需要が拡大してきた。沖縄の中食の状況はどうだろう。厚生労働省「2009年度衛生行政報告例」によると、県内で弁当や惣菜を製造・販売する中食業者は、2,122カ所。ここ4年間の増加数は、412カ所と全国一多いのだ。中食のお店を弁当・惣菜屋、スーパーやコンビニだけと思っていないだろうか。他にもデパチカ、ホテイチがある。「デパ地下」は常識、高級中食が買える「ホテイチ」は、ホテルの1階を意味する。中食の売場は多く、惣菜の種類も多彩だが、やっぱりイカ天と魚天が一番でしょ。

(海邦総研事業支援部/金城智裕)

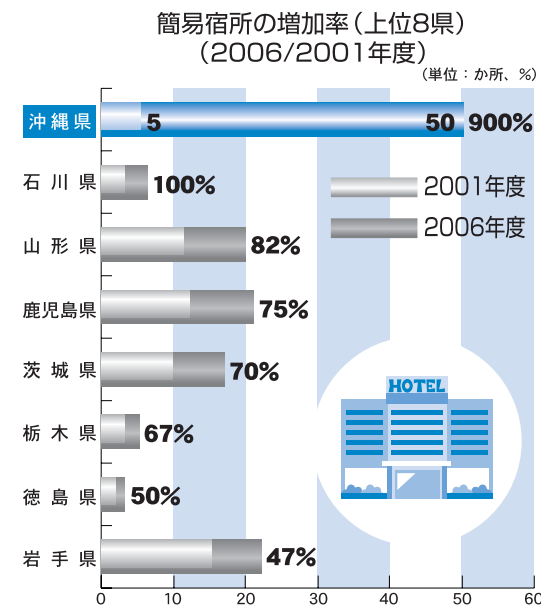


【簡易宿所の増加率】

900%

観光シーズンである夏を過ぎたとはいえ、まだまだ沖縄を訪れる観光客は多い。8月には過去最高の観光客が訪れ、観光業界の盛り上がりは、ますます沖縄を元気にしている。総務省統計局「事業所・企業統計調査」によると、2003年度から2006年度5年間における沖縄の簡易宿所の増加率は900%で、堂々の全国一位。5年間で約10倍も増えている。簡易宿所は一般的に素泊まりタイプが基本になっている。低料金で使い勝手が良く、ダイバーや移住希望者などの拠点としても利用されているようだ。リゾートホテルで非日常を味わうのも沖縄観光の一つだが、ゲストハウスなどに気軽に長く滞在し、プチ移住感覚で沖縄での生活を楽しむという人も増えているようだ。とはいえ数としては50カ所とまだ少ない。新しい観光アイテムとして今後しばらく注目される産業だろう。

(海邦総研経営企画部/国吉真吾)



おきなわデータ算歩 けーざい100

「データ算歩」は県内でよく話題になる事柄を具体的に数字で裏付けて紹介しようと試みたもので、経済・数字の世界をまさに算(散)歩感覚で楽しみましょうという内容です。「食生活」「生活・消費」「産業」「住環境」など八項目に分類。漫画やグラフを使い、見開き2ページで1項目を説明しています。アイスクリームやビールの購入額が全国一低いなど意外と思える数字も紹介。読みたい項目から読めるよう工夫しています。

沖縄県内各書店やインターネットでもご購入いただけます。沖縄けーざいを易しく知りたい、興味のある、という方に特にお勧め!

<http://www.kaiho-ri.jp>